

科目名	半導体工学 Semiconductor Electronics			担当教員	河田 純			
学 年	5 年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2	
分 野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	12237040	単位区別	履修	
学習目標	日常生活に深く浸透している LSI やメモリなどの半導体デバイスに焦点を置き、各種の電子デバイスの構造、動作、特性、用途などの概要を講述する。デバイスの動作原理と物理法則との関係の理解を深めるとともに、電子デバイス像を身につける。							
進め方	講義を中心に、適宜、小テストを行い、理解を深める。平常時または長期休暇中には、課題が与えられるので、レポートを作成し、提出する。							
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標				
	1. 電子デバイスの概要(3) 2. 半導体素子(5) 3. 基本回路の仕組み その 1(5) ----- [前期中間試験](2)			電子デバイスとは何かを知っており、説明できる。  ダイオード・トランジスタなどの半導体素子について知っており、説明できる。 AND・OR・NOT・加算回路・減算回路などの基本回路について知っており、説明できる。				
	4. 試験問題の解答(1) 5. 基本回路の仕組み その 2(5) 6. 集積回路の仕組み(5) 7. 撮像・表示デバイスの仕組み(4) 前期末試験			オペアンプ・微分回路・積分回路などの基本回路について知っており、説明できる。 DRAM・MPU などの集積回路について知っており、説明できる。 CCD・有機 EL などの撮像・表示デバイスについて知っており、説明できる。				
	8. 試験問題の解答(1) 9. 受動部品の仕組み (4) 10. 機能部品・機構部品の仕組み(4) 11. 無線応用デバイスの仕組み(4) ----- [後期中間試験](2)			抵抗器・コンデンサ・インダクタなどの受動部品について知っており、説明できる。 磁気ヘッド・プリント基板などの機能部品・機構部品について知っており、説明できる。 無線用ダイオード・アンテナなどの無線応用デバイスについて知っており、説明できる。				
	12. 試験問題の解答(1) 13. 光応用デバイスの仕組み(4) 14. センサ素子の仕組み(4) 15. エネルギーデバイスの仕組み(4) 後期末試験			半導体レーザー・固体レーザーなどの光応用デバイスについて知っており、説明できる。 フォトダイオード・磁気抵抗素子などのセンサ素子について知っており、説明できる。 太陽電池・燃料電池などのエネルギーデバイスについて知っており、説明できる。				
	16. 試験問題の解答(2)			D2:1,3				
	評価方法	定期試験 60%，小テスト 20%，レポート 20%の比率で評価する。						
	履修要件	特になし。						
	関連科目	電気回路 I(2 年)，電気磁気学(4 年)						
	教 材	教科書：菊池正典，影山隆雄 著 「図解でわかる電子デバイス」 日本実業出版						
備 考								